

2022年度修了生の皆様 修了おめでとうございます

〈2022年度専任教員退任挨拶〉



「新たな世界で挑戦を！」

金子 裕子 教授

2018年4月に早稲田大学会計研究科に着任し、監査論や監査関係のワークショップ、職業倫理を担当してきましたが、2023年3月末で退職します。あっという間の5年間でした。

早稲田大学の前は、長い間、公認会計士として監査業務や監査の基準作りなどに携わってきました。そんな中で、公認会計士の仕事が正しく理解されていないことを残念に思うとともに、より多くの優秀な人たちに公認会計士になって活躍してほしいと思っていました。ですから、会計専門家等も目指す皆さんと一緒に、監査論を学び深めることができたのは大変幸せでした。

ただ、監査論を教えることは、自分が監査することとは大きな違いがありました。何をどう伝えていけば良いのか迷いが沢山ありました。皆さんになるべく考えてもらえるように、対話型の講義を心がけましたが、新型コロナウイルスのためのオンライン講義やマスク越しの授業ということもあり、なかなかスムーズにコミュニケーションできなかったことは残念でした。

世界は大きく動いています。戦争・紛争、災害、疫病、貧困、気候変動・環境、人口、エネルギーなどなど、沢山の問題が生じています。また、企業においても、グローバル化や巨大化の中で、優秀な人材の確保とイノベーションが大きな課題になっています。監査においても、リスク・アプローチの高度化、監査報告書の情報提供機能の強化、さらには、ITへの対応、AIの活用、サステナビリティへの対応など、様々な変化が起きようとしています。

これから新しい世界に踏み出す皆さんは、困難に直面することも多いと思います。社会の課題は、学校の試験と異なり必ずしも正解があるわけではありません。しかし、そこにオポチュニティーがあります。専門知識があることは社会で生き抜くための大きな助けとなります。ぜひ沢山の挑戦をして下さい。皆さんの人生が喜びと充実感にあふれたものとなることを願っています。

金子先生ありがとうございました